

1 家庭での環境学習等に役立つ情報の収集・発信・・・本編P17

- ・地域の特性を活かした体験活動や世代に応じた環境学習、世代間をつなぐ環境学習等の場や機会についての情報収集・発信
- ・家庭での環境学習に役立つ環境学習の場や機会の情報収集・発信
- ・日々の生活での環境に配慮した取組事例や、安全・安心な生活に必要な知識・情報の発信
- ・地域の抱える環境問題と、その解決のために各家庭でできること、さらに各家庭での取組の結果、県全体でどんな効果が期待できるかといった情報の発信

21事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
1	県民文化局	県民生活課	あいちエシカル消費普及啓発事業	2020	日程: ①10月6日(日) ②11月4日(月・振替休日) 場所 ①イオンモール岡崎 ②ヒルズウォーク徳重 ガーデンズ 参加者:合計1,533人	イベント開催:1箇所(予定)	人や社会、地域、環境に配慮した商品やサービスを選んで消費する「エシカル消費」について、広く県民に普及啓発するため、参加体験型のイベントを開催し、消費者の持続可能な社会の形成に貢献する消費行動を促進する。		○		◎			12
2	環境局	環境政策課	SDGs推進フェア	2020	「SDGs AICHI EXPO 2024」 日程:10月10日(木)～12日(土) 参加者:14,793人(来場者: 11,362人、オンライン視聴者: 3,431人)	「SDGs子ども・ユースフェア」 日程:10月3日(金)、4日(土) 来場者:12,000人	「SDGs子ども・ユースフェア」を開催することで、SDGsの普及・浸透及び子ども・若者の行動変容の促進を図り、2030年のSDGs達成に向けた機運を醸成する。	◎	○	○	○	○		1～17
3	環境局	環境調査センター	あいち環境学習プラザにおける展示等	2007	プラザ利用者数:9,855名	継続実施	公共施設で全国トップクラスのZEB(ゼブ)を支える新エネ・省エネ設備や環境分析現場の見学、ハンズオン展示などを行う。	○	◎					4 6 7 11 12 13 14 15 17
4	環境局	環境活動推進課	エコアクション推進フェアの開催	2014	日程:11月2日(土) 場所:鶴舞公園 普選記念壇周辺(名古屋市) 参加者:約3,200名(延べ)	日程:10月19日(日) 場所:乙川河川緑地(岡崎市)	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、エコアクション推進フェアを開催する。		◎					4 6 7 11 12 13 14 15
5	環境局	環境活動推進課	環境情報システム	2005	データの収集・整理、発信	継続実施	県が実施した環境調査事業等のデータを収集・整理してインターネットにより発信する。		◎	○				3 4 13 14 15
6	環境局	環境活動推進課	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	2002	店舗イベント開催回数:1回	店舗イベント開催回数:1回	東海三県一市の広域連携で、事業者・団体・行政が協働して、詰め替え商品、環境ラベル商品、地産地消等の環境配慮型商品の啓発キャンペーンを実施し、グリーン購入の普及と定着を図る。		○	○	◎			9 12 13 14 15 17
7	環境局	環境活動推進課	化学物質セミナー	2002	・事業者向けセミナー(オンライン配信) 公開期間:11月22日(金)～2月28日(金)、申込者数:831名 ・県民向けセミナー 日程:11月7日(木)、来場者数:106名	・事業者向けセミナー(オンライン配信予定) 公開期間未定 ・県民向けセミナー 12月予定	化学物質の適正な管理を一層推進するための事業者向けセミナーや、化学物質による暮らしや健康への影響などについて理解を深めるための県民向けセミナーを開催する。		◎		○			3 4 6 12
8	環境局	環境活動推進課	あいちエコアクション・ポイント事業費	2022	取組強化キャンペーンを実施 夏季:6月16日～7月15日 冬季:12月16日～1月15日 参加者(年度末時点):10,746名	取組強化キャンペーンを実施 夏季:6月16日～7月15日 冬季:12月16日～1月15日	県民の方の脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、飲食店での食べ残しゼロなどの環境配慮行動(エコアクション)に対して、愛知県独自のポイント(あいちエコアクション・ポイント)を付与する。		○		◎			12 13 14 17
9	環境局	地球温暖化対策課	夏休み!おうちでエコアップ大作戦	2020	各学校の夏休み期間に実施 参加数:5,200家族	各学校の夏休み期間に実施	家族と一緒に過ごす時間が長い夏休みを利用して、小学生とその家族が省エネ活動をはじめとした環境配慮項目が記載されたチェックシートを利用しながら、家族みんなでエコアップ行動に取り組む「夏休み!おうちでエコアップ大作戦」を実施する。		○	○	◎			4 7 13
10	環境局	水大気環境課 生活環境地盤 対策室	三河湾大感謝祭	2014	10月6日(日)開催 会場:西浦温泉パームビーチ 参加者:約3,000名	10月5日(日)開催予定	三河湾の環境再生に向けた取組の機運を高める「三河湾環境再生プロジェクト」のさらなる推進に向け、多くの人々に三河湾にもっと関心をもってもらうことを目的に「三河湾大感謝祭」を開催する。	◎	○					6 14 17

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
11	環境局	水大気環境課生活環境地盤対策室	油ヶ淵電子図書館	2005	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信した。	継続実施	県や市民グループ等による油ヶ淵流域水環境モニタリングの調査結果等を公開し、水質改善に向けた取組を発信する。	◎	○		○	6 14 15 17	
12	環境局	資源循環推進課	資源循環学習	2021	資源循環に関する学習、循環ビジネス振興施策情報、愛知環境賞表彰事例等を発信した。【発信件数:24件】	【発信件数:24件】	資源循環に関する学習、循環ビジネス振興施策情報、愛知環境賞表彰事例等を発信する。	◎	○			4 7 9 11 12 13	
13	環境局	資源循環推進課	ごみゼロ社会推進あいち県民会議	1993	ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等で構成 ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催 11月2日 鶴舞公園 参加者延べ約3,200名 レジ袋削減取組店制度の運用	ごみゼロ社会推進あいち県民大会を10月に開催:1回 (食品ロス削減イベントと同時開催予定)	県民、事業者、行政が一体となつてごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用を促進することを目的に設立された「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が主体となり、普及啓発、情報収集・提供や調査・研究を行う。(ごみゼロ社会推進あいち県民会議:事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等で113団体(2025年7月現在)構成) ○啓発事業 ごみゼロ社会推進あいち県民大会等の開催、レジ袋削減取組店制度の運用	◎	○			12 17	
14	環境局	資源循環推進課	海岸漂着物等に関する環境学習	2018	・「海洋ごみの発生抑制環境学習プログラム」を用いた小学校でのモデル授業およびバスツアーの実施	バスツアー:1回	海岸漂着物等に係る啓発事業として、「海洋ごみの発生抑制環境学習プログラム」を用いて、バスツアーを行う。	◎				12 14	
15	環境局	資源循環推進課	食品ロス削減推進事業	2018	・食品ロス削減イベントの開催 11月2日 鶴舞公園 参加者延べ約3,200名 ・イベントでのブース出展 (SDGs AICHI EXPO2024、食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会あいち県民大会、三河湾大感謝祭) ・日々の生活で出た食品ロスを把握し、減量に1週間取り組む食品ロス削減チャレンジの実施 応募:約150件(502人)	食品ロス削減イベントを10月に開催:1回 (ごみゼロ社会推進あいち県民大会と同時開催予定) イベントでのブース出展:3回	食品ロス削減に係る啓発事業として、食品ロス削減イベントの開催、「食品ロス削減環境学習プログラム」を用いた、イベントでのブース出展、食品ロス削減に資する調理レシピのコンテストを実施する。	◎	○		○	12	
16	農業水産局	食育消費流通課	地産地消推進費	2005	・ネットワークの拡大 新規:48会員 ・SNSによる情報発信:576記事	・ネットワークの拡大 ・SNSによる情報発信等	地産地消を推進する「いいともあいち運動」を展開し、消費者と生産者の「顔の見える関係」を構築するため、生産者団体、食品関連事業者、NPO、消費者団体及び食生活改善関係者等と幅広いネットワークを形成し、協働活動の推進、情報発信等を行う。	○	◎			12	
17	農業水産局	食育消費流通課	いいともあいち魅力向上推進事業のうちSDGs貢献あいち地産地消推進事業	2022	いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーの実施 登録数:5,288人 スタンプ獲得数:98,228個	・地産地消の理解を促すためのデジタルプロモーションの実施 ・地産地消デジタルスタンプラリー、社食・学食での県産農林水産物を利用したメニューフェア、レシピコンテストの実施	SDGsや環境負荷低減の達成に対する社会的関心が高まる中、その一手法として「地産地消」の取組についても県民の関心が高まりつつあることを踏まえ、特に県内に向けて、地産地消を推進する「いいともあいち運動」を核とした取組を一層推進する。	○	◎			12	
18	農林基盤局	農地計画課	あいちの農業用水展	1991	日程:8月1日(木)~7日(水)	日程:8月2日(土)~8日(金)	農家や先人の努力の積み重ねにより守り育まれてきた農業用水を中心に、水の重要性について広く県民の関心と理解を深めるため、農業用水の歴史や変遷等を参加型イベントやパネル展示により紹介する。	○	◎			2 6 7 9	

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
19	建設局	河川課	みずから守るプログラム	2011	【手づくりハザードマップ】11地区 【大雨行動訓練】9地区	継続実施	水害に直面した際に県民が適切な行動に移せるよう、県民目線の情報提供と、県民の自発的な行動を育む地域協働型の取組を推進する。		○		◎		11 13
20	都市・交通局	交通対策課	あいちエコ モビリティ ライフ 推進事業	2008	・市町村等と連携した実践促進事業:2回 ・「エコモビの日」PR活動:1回 ・エコモビ実践セミナー:1回	・市町村等と連携した実践促進事業 ・「エコモビの日」PR活動 ・エコモビ実践セミナー	クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイルである「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の普及・定着を図るため、県内各地において「エコモビ」の実践に関する普及啓発活動などを行う。		○		◎		11 13
21	都市・交通局	交通対策課	高度道路交通システム推進費	1998	・あいちITS大学セミナー:12回 ・あいちITS産・学・行政交流会:1回	・あいちITS大学セミナー ・あいちITS産・学・行政交流会	ITS(高度道路交通システム)を活用した安全、快適で環境にやさしい地域づくりを目指し、愛知県ITS推進協議会(事務局:愛知県交通対策課)を中心に、産・学・行政が連携してITSの普及・啓発活動や導入促進に向けた各種取組を行う。				◎	○	9 11 13

2 体験等を通して気軽に楽しく学び合える機会と場の確保・・・本編P17

- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・生活との関わりなどについて、体験等を通し、実感を伴って学べる機会の拡充
- ・世代間の学び合い・育ち合いに発展する環境学習等の充実

21事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
22	環境局	環境調査センター	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座	2005	小中学校の受入:72団体 夏休み等の講座:28回(計765人) ecoティーチャー派遣:34回	小中学校の受入:約100団体 夏休み等の講座:26回(各回20人程度) ecoティーチャー派遣:35回	社会見学に対応した環境学習や、夏休み等における環境学習講座及びイベントを開催する。		◎	○			4 6 7 11 12 13 14 15 17
23	環境局	環境活動推進課	AELネットを活用したエコアクションの推進	2014	期間:6月～2月 応募総数:2,689名 参加者:39,165名	期間:6月～2月	県民一人一人の環境への負荷を減らすエコアクション(環境配慮行動)を促進するため、AELネット環境学習スタンプラリーの開催をする。		◎				4 6 7 11 12 13 14 15 17
24	環境局	環境活動推進課	もりの体験教室の実施	2007	ツアー参加者:4,632名 あそび工房参加者:3,445名 その他行事:6,072名	継続実施	愛・地球博記念公園内の「もりの学舎」でインタープリターにより、五感と想像力を使って自然とふれあう「もりのツアー」などの自然体感プログラムなどを実施する。	◎	○	○	○	○	4 15
		環境活動推進課	もりの学舎キッズクラブ等の運営	2008	Aコース50名、Bコース50名 各コース9回実施(延べ737名)	継続実施	もりの学舎において、小学生に自然の不思議さや大切さを学んでもらうため、自然体験・環境活動を実施する。						
		環境活動推進課	インタープリター養成研修	2024	新規養成数:15名	新規養成数:5名程度	もりの学舎のインタープリターを継続的に募集し、安定的に養成する						
25	環境局	地球温暖化対策課	「あいち COOL CHOICE」ブース出展	2008	出展回数:28回	出展回数:10回	市町村のイベント等に出展しパネルや体験型実験装置などを用いて脱炭素型ライフスタイルへの転換を促す普及啓発を行う。		◎	○	○		4 7 13
26	環境局	水大気環境課	エコドライブ普及促進事業	2014	参加数:約250人	継続実施	キャンペーンWebページ上にエコドライブに関する動画を配信し、普及促進を行う(JAF共催)	○	○		◎		3 4 7 8 11 12 13
27	環境局	地球温暖化対策課	次世代自動車普及促進事業	2009	イベント出展:13回	継続実施	自動車利用における脱炭素化の推進のため、自動車から排出されるCO2の削減効果が高いEV(電気自動車)、PHV(プラグインハイブリッド自動車)やFCV(燃料電池自動車)の展示・試乗会等を開催し、普及啓発を行う。	○	◎			○	4 7 9 11 12 13
28	経済産業局	水素社会実装推進課	低炭素水素の利活用及び水素社会に係る普及啓発	2021	イベント出展:7回 (ブース出展7回)	イベント出展:6回 (ブース出展6回)	低炭素水素の利活用及び水素社会について、新たな事業者等による低炭素水素の利活用等につながる普及啓発を実施する。また、広く県民の方向けにも水素社会に係る普及啓発を実施する。		◎			○	4 7 11 12 13
29	環境局	水大気環境課	流域モニタリング一斉調査	2009	参加団体:100団体 延べ参加者:638名 延べ調査地点:242地点	6月5日から9月末まで実施	河川やため池など身近な水環境に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」を活用し、調査を実施する。	○	◎	○		○	6 14 15

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
30	環境局	水大気環境課	水循環再生地域協議会の開催	2006	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行った。	継続実施	水環境の総合的な改善に向け、県民・事業者・民間団体・行政が連携・協働して健全な水循環を再生するため、尾張、西三河、東三河の各地域において水循環再生地域協議会を設置し、水循環再生行動計画の策定・推進、取組事例の報告、及び情報交換等を行う。また、各協議会にフォローアップチームを設け、行動計画の進捗状況の点検・把握などを行う。					◎	○	6 14 15
31	環境局	水大気環境課 生活環境地盤対策室	三河湾環境再生体験会	2016	8月20日(火)開催 会場:東幡豆海岸及び前島 参加者:57名	8月21日(木)開催 会場:東幡豆海岸及び前島 参加定員:60名	干潟の生きもの観察やコアマモ(海草)の移植体験により、干潟の役割や大切さを知り、三河湾の環境再生への関心を高める。	◎	○					6 13 14
32	環境局	水大気環境課 生活環境地盤対策室	油ヶ淵流域水環境モニタリング	2005	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やバックテストによるCOD濃度などの調査を行い、生活排水等による水の汚れを把握した。	継続実施	油ヶ淵及び流域河川において一般公募した市民グループ等により、透視度やバックテストによるCOD濃度などの調査を行うことで、生活排水等による水の汚れを把握する。	○	◎					6 15 17
33	環境局	水大気環境課 生活環境地盤対策室	サポーター向け講座	2019	①6月8日(土) 会場:蒲郡市西浦地区の海岸 参加者:29名 ②7月31日(水) 会場:知柄漁港 参加者:15名 ③11月22日(金) 会場:佐久島 参加者:20名	3回開催予定 ①6月8日(日) ②未定 ③未定	三河湾環境再生パートナーシップ・クラブのサポーターの三河湾への関心・理解をより高め、サポーターの三河湾の環境保全活動への参加を促すため、「サポーター向け講座」を開催する。		◎			○		6 13 14 17
34	環境局	自然環境課	自然公園魅力発信強化事業	2018	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間52回 普及啓発資材の作成	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施:年間52回(予定) 普及啓発資材の作成	「いらごさららパーク 自然観察サポーター」による自然観察ガイドの実施や、普及啓発資材の作成を通して、自然環境に関する知識や自然保護思想の普及啓発を行う。	◎						15
35	福祉局	子育て支援課 (指定管理者)	自然物を使った工作や自然観察会の実施	-	愛知こどもの国の指定管理者が、園内の自然物(小枝や枝の輪切り、木の実)を利用した工作を実施した。また、外部団体と連携して、園内の生き物や昆虫観察会を行った。また、さらに、AELネットにも参加し環境学習のきっかけを提供している。 (3月末現在 参加者:4,217名)	①4月に実施予定/園内にて ②6、10、11、12月/わくわく工房にて ③夏から秋にかけて/園内にて ④春から冬にかけて/園内にて ⑤AELネット参加	①園内の自然環境を題材にSDGsの理念を取り入れた行事を実施予定 ②園内の自然物(小枝や木の実)や廃材を利用した工作を実施予定 ③外部団体と連携した園内の生き物や昆虫の観察会を実施予定 ④生物多様性あいち学生プロジェクトGAIAと連携した活動を実施予定 ⑤AELネットに参加予定	◎	○			○		14 15 17
36	農業水産局	水産課	あいち海の恵み普及啓発事業	2012	・県内の小学5年生児童に水産物普及啓発教材を配布(1,004校、66,327名) ・小学校等での出前授業や放流体験会(38カ所・1,528名) ・育児情報誌へ魚を紹介する記事掲載(4回)	・県内の小学5年生児童に水産物普及啓発教材を配布(1,002校) ・小学校等での出前授業や放流体験会 ・育児情報誌へ魚を紹介する記事掲載(4回)	・若いうちから県産水産物への親しみを持たせ、将来の消費者として地元の魚を選ぶという行動様式を定着させるため、県内全小学校に水産教育用の教材を配布する。 ・主要県産水産物を「見て」「触って」学べる体験学習と漁業者との交流会、アユやサツキマスの体験放流会を行う。 ・幅広い世代に県産水産物を紹介する。	○	◎					14

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
37	政策企画局	企画課愛知万博20周年記念事業推進室	愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」の6月イベント 全員集合！地球まもり隊	2025	-	①ジョギングとゴミ拾いを組み合わせたプロギングの実施 ②「学研の図鑑LIVE」を活用した、公園内に生息する動植物等を紹介するパネル展示 ③公園内を散策しながら生物多様性への理解を深めるフィールドワーク ④各種企業、団体等による環境に関するワークショップ・ブース出展	2025年の愛知万博開催から20周年を記念して、会場地であった愛・地球博記念公園において、2025年3月25日から9月25日まで、愛知万博20周年記念事業を開催。毎月テーマを決めて、週末を中心にイベントを実施する。環境月間である6月は、環境をテーマに、親子で自然環境について楽しみながら学ぶイベントを実施する。「全員集合！地球まもり隊」の主なコンテンツ ①プロギングの実施 ②公園内に生息する動植物等を紹介するパネル展示 ③生物多様性への理解を深めるフィールドワーク ④各種企業、団体等によるワークショップ・ブース出展	◎	○	○	○	○	11 13
38	農林基盤局	林務課(指定管理者)	自然観察会の実施	2005	自然観察会 45回実施	継続実施	愛知県森林公園及び愛知県民の森の指定管理者が、「自然ウォッチング」「野の花めぐり」などを実施する。	◎					3 4 15
39	農林基盤局	森林保全課	あいち海上の森保全活用事業	2006	森林整備等活動:実施回数28回 参加者530名 参加体験学習:実施回数21回 参加者438名	森林整備等活動:実施回数未定 参加体験学習:実施回数20回	海上の森を将来にわたり保全・活用するために、NPO、企業、学校等と協働・連携して森林整備活動や森林や里山に関する参加体験学習等を実施する。	○				◎	15
40	農林基盤局	森林保全課 森と緑づくり推進室	森と緑づくり体感ツアーの実施 【あいち森と緑づくり事業】	2008	体感ツアー:1回開催 参加者65名	体感ツアー:1回開催	森や緑の現状を県民に直接、見て、体験してもらい、森と緑づくりへの理解を深めてもらうためのバスツアーを実施する。	○	◎				13 15
41	都市・交通局	公園緑地課(指定管理者)	自然観察会の実施	2005	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施した。	継続実施	県営都市公園の指定管理者等が自然観察会を実施する。	◎					11 15
42	都市・交通局	公園緑地課	油ヶ淵水辺公園整備事業	2007	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施した。	継続実施	油ヶ淵の自然環境を再生し、身近な生き物との触れ合いの場となる自然ふれあい生態園の整備を引き続き実施する。	◎	○				11 15

3 学校における環境教育の促進（教育）・・・本編P22

- ・発達段階に応じた環境教育の実施
- ・環境教育に必要な人材や場、教材とのマッチングの仕組みの提供
- ・県内環境学習施設等のネットワークを活かした、環境教育の機会の拡充と質の向上
- ・効果的な環境教育を実施するための教員研修の実施
- ・環境教育の参考となる、地域資源の活用事例や、学び合い・育ち合いに発展した事例についての情報提供
- ・環境教育に活用できるデータや情報の、学校が使いやすい形での発信（環境に関するデータ、発達段階に応じた体験的学習の場や教材、専門的な人材、財政的支援に関する情報など）
- ・表彰・コンクール等による、優れた環境教育の取組への支援

9事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
43	教育委員会事務局	あいちの学び推進課	あいちの学校連携ネット	2011	情報更新依頼先 高専 1 四大 52 短大 16	継続実施	大学と県教育委員が連携することにより、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりする取組を推進するためのマッチングサイトを運営する。				○	◎	4
44	教育委員会事務局	あいちの学び推進課	ユネスコスクール活性化事業	2015	ユネスコスクール交流会の実施 発表・見学者:約280名	ユネスコスクール交流会の実施 発表・見学者:400名 ※2回実施予定	ユネスコスクールの活動を継続的に支援し、ESDの活動拠点としてのユネスコスクールの発展に寄与するため、関係機関から講師等の派遣を行う。また、県内のユネスコスクール活動の充実と、各校の連携促進、ネットワークの構築を図りユネスコスクールの全県的な広がりを目指した交流会を実施する。				○	◎	4 7 10 11 12 14 15 16 17

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
45	教育委員会事務局	高等学校教育課	あいちSTEAM教育推進事業	2017	中高生対象あいちSTEAM教育事業(探究キャンプ、あいちSTEAM教育セミナー、知の探究講座(6大学102名参加)、あいち科学の甲子園(23チーム参加))及びあいちSTEAM教育コンソーシアム事業(あいち科学技術教育推進協議会)を実施。	あいちSTEAM能力育成事業(知の探究講座:7大学100名募集、科学技術教育推進協議会、あいち科学の甲子園)の実施。 2023年度に指定したあいちスーパーサイエンスハイスクール研究指定校1校による研究。	自然科学等の分野に関心が高く、より深く学ぼうとする意欲のある生徒に対し、連携大学、企業等による先進的なSTEAM教育を実施することにより、愛知の科学の発展を担う理数工学系人材を育成する。		○	◎		○	4 7 9 12 15	
46	教育委員会事務局	高等学校教育課	県立高等学校教育推進実施計画	2015	理科において、一人一人が体験的な学びができるよう環境整備を図るとともに、科学的リテラシーを身に付けられるよう授業改善を図った。	-	-				○	◎	4 7 13 14 15 17	
47	教育委員会事務局	高等学校教育課	キャリア教育推進事業	2012	(1) インターンシップ等の実施(全日制県立高校141校) (2) 地域産業専門講座(職業学科設置校42校42学科182時間) (3) 地域ものづくりスキルアップ講座(83社、17校、230人) (4) 専門高校生海外インターンシッププロジェクト ・マレーシア 8月1日～8月10日(9泊10日) ・グローバルテクノロジーコース3名、グローバルフードビジネスコース5名、引率教員2名 (5) キャリア教育コーディネーターの活用(コーディネーター5名、モデル校18校) (6) あい치의産業担い手育成事業(27校)	(1) インターンシップ等の実施(全日制県立高校144校) (2) 地域産業専門講座(職業学科設置校54校) (3) 地域ものづくりスキルアップ講座 (4) 専門高校生海外インターンシッププロジェクト (5) キャリア教育コーディネーターの活用(コーディネーター5名、モデル校18校) (6)アントレプレナーシップ教育推進事業 (7) 産業教育・STEAM教育普及事業 (8) 産学連携活性化事業	高校生が勤労観・職業観や主体的な進路選択をできる能力・態度を身に付け、学校生活から職業生活への移行が円滑に行われるよう、全ての全日制県立高校においてインターンシップ等を実施する。また、産業界等の協力を得て専門高校生等の技術及び技能の習得を図る。		○	◎		○	4 7 9 12 15	
48	教育委員会事務局	高等学校教育課 義務教育課 特別支援教育課	公立学校初任者研修	2005	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施した。	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	宿泊研修等において、環境保護活動や自然体験活動、野外教育活動等を実施する。	◎	○			○	4 17	
49	教育委員会事務局	高等学校教育課 特別支援教育課	地域の明日を拓く人材育成事業(道徳教育推進事業)	2023	県立高等学校11校、県立特別支援学校1校を実践指定校に指定した。	県立高等学校10校、県立特別支援学校2校を実践指定校に指定する。	実体験の乏しい現代の児童生徒に、いじめや集団生活におけるトラブルを自ら回避・解決する力を身に付けさせるために、道徳教育の実践やさまざまな体験活動、交流活動、地域貢献活動を行い、持続可能な地域社会の構築に向け、人間関係をつくる力やコミュニケーション能力を養うとともに、多様な人々の存在を尊重しながら自らを高め、社会に役立つことのできる人材を育成する。		○			○	◎	14 15
50	教育委員会事務局	義務教育課	地域とともに未来を築く学校づくり推進事業	2024	推進校(小1校、中1校)において、地域と連携・協働した教育活動を実践し、その成果を県内の小中学校に伝えた。	-	-		○			○	◎	4
51	教育委員会事務局	保健体育課	学校食育推進者養成講座	2005	研究発表校(2校)による、学校給食や食育に関する発表、文部科学省の食育調査官による食育推進に関する講義を実施する予定であったが、台風の影響で中止となった。	研究発表校(2校)による発表、文部科学省の食育調査官による講義を予定。参加者は450名程度を予定。	学校における食育推進の中核となる指導者を養成する。		○	◎				3

4 学校における環境教育の促進（県）・・・本編P22

- ・自然とふれあう学習の促進
- ・低炭素社会、水、資源循環、エネルギーや廃棄物、買物や食に関する学習の促進
- ・多様な主体との連携・協働の促進
- ・学習施設等のネットワークの活用など

14事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
52	環境局	環境政策課	持続可能な未来のあいちの担い手育成事業(かがやけ☆あいちサステイナ研究所)	2015	大学生:39名 成果発表会:147名 出張成果発表:1回 SDGsイベント参加:1回	大学生:32名 成果発表会:150名程度 出張成果発表:1回程度 SDGsイベント参加:1回	パートナー企業から提示された環境課題に対して、解決策を調査、提案するプログラム「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」により、持続可能な未来のあいちの担い手となる大学生を育成する。		○	◎	○	○		4 9 11 17
53	環境局	環境活動推進課	インタープリター自然体感推進事業	2016	「もりの学舎ようちえん」 回数:2コース 各6回 参加者:30組(延べ151組)	「もりの学舎ようちえん」 回数:2コース 各6回 定員:32組	未就学児童とその保護者を対象に、森の中での自然体感プログラムを四季を通じて実施する。							4 15
		環境活動推進課			「一日もりの学舎ようちえん」 参加団体:11団体	「一日もりの学舎ようちえん」 定員:15団体	保育園・幼稚園等の園児を「もりの学舎」に招き、様々な感覚を使った自然体感プログラムを実施する。							
		環境活動推進課			「森の伝道師派遣」 参加団体:23団体	「森の伝道師派遣」 定員:26団体	保育園・幼稚園等の活動場所にインタープリターを派遣し、自然体感プログラムを実施する。	◎	○					
		環境活動推進課			「子ども自然体感活動指導者養成研修」 〈幼稚園教諭等向け〉 回数:2コース各3回 参加者:40名(延べ100名) 〈施設等職員向け〉 回数:2回 参加者:32名	「子ども自然体感活動指導者養成研修」 〈幼稚園教諭等向け〉 回数:2コース 各3回 定員:40名 〈施設職員等向け〉 回数:2回 定員:40名	幼稚園教諭、保育士、施設職員を対象に、未就学児童に対する自然体験活動が効果的であることを伝え、自ら自然体感プログラムが実施できる人材を育成する研修を実施する。							
54	環境局	環境活動推進課	環境学習副読本の作成・配布	2005	52,000部作成・配布	52,000部作成・配布	県内の小学校新4年生(名古屋市を除く)を対象に、環境学習副読本を作成、配付する。		◎	○			4 6 13 14 15	
55	環境局	環境活動推進課	高校生環境学習推進事業	2017	参加校:3校 キックオフミーティング:1回 調査研究発表会:1回 活動報告会:1回	参加校:3校 キックオフミーティング:1回 調査研究発表会:1回 活動報告会:1回	高校生が、環境問題に関する調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材等を作成するとともに、その教材等を活用・普及する。		○	◎			4 6 13 14 15	
56	環境局	地球温暖化対策課	一般向け「ストップ温暖化教室」	2007	回数:3回	回数:10回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、一般県民を対象とした教室を開催する。		◎		○		4 7 13	
57	環境局	地球温暖化対策課	小学生向け「ストップ温暖化教室」	2007	回数:小学校高学年向け70回 小学校中学年向け210回 放課後子ども教室向け39回	回数:小学校高学年向け150回 小学校中学年向け150回	市町村及び地球温暖化防止活動推進員と連携し、脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、小学生を対象とした教室を開催する。		◎	○	○		4 7 13	
58	環境局	水大気環境課 生活環境地盤対策室	三河湾環境学習会	2015	7月27日(土)開催 会場:蒲郡埠頭及び三河湾海上 参加者:40名	中止(実習船「愛知丸」の修理・調整のため)	県立三谷水産高校実習船「愛知丸」に乗船し、三河湾の水質や底質を実際に調査することで、三河湾の現状や環境を学び三河湾の環境再生への関心を高める。	○	◎				6 14	
59	環境局	自然環境課	野生生物保護実績発表大会	1971	8月1日(木)実施 愛知県内の小・中・高から8校の発表団体 参加者は約150名 刈谷市産業振興センター(小ホール)にて開催 身近な環境保全の活動や研究の取組を発表	8月28日(木) 愛知県内の小・中・高、こどもエコクラブ等の団体が対象。 刈谷市産業振興センター(小ホール)	小学校、中学校、高等学校、その他の団体が行った野生生物の保護活動を発表し、学び合う。		◎		○	○	14 15 17	

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
60	環境局	自然環境課	愛鳥週間用ポスターの原画の募集	1971	県内参加校数:527校 県内応募総数:13,476点	継続実施	公益財団法人日本鳥類保護連盟が主催する「愛鳥週間用ポスター原画コンクール」に応募する作品を県内の児童及び生徒から募集する。	○	◎					14 15 17
61	環境局	自然環境課	愛知県とブラジル・サンパウロ州とのオンラインユース交流プログラム	2021	愛知県とブラジル・サンパウロ州の両地域のユース世代が、生物多様性の保全の取組等について相互に学び合うオンラインでの友好交流プログラムを実施した。	継続実施	愛知県とブラジル・サンパウロ州の両地域のユース世代が、生物多様性の保全の取組等について相互に学び合うオンラインでの友好交流プログラムを実施する。		○	○	○	◎		4 14 15 17
62	農業水産局	水産課	少年少女水産教室	—	海とお魚漁業体験教室の開催(参加者4名)	海とお魚漁業体験教室の実施1回	中学生を対象に海に関する知識の学習や漁業体験を行う海とお魚漁業体験教室を実施する。	◎	○					14
63	建設局	上下水道課	メタウォーター下水道科学館あいちの運営	2000	来館者数:93,974人	【夏だ！ワクワク科学館祭り2025】 日程:8月 【エッピー祭2025】 日程:12月	メタウォーター下水道科学館あいちにおいては、下水道の役割や機能を説明するだけでなく水循環や水環境など学習の場を提供する。来館者に対して下水道の役割・機能のほか、水環境・水循環を含めた環境について考えるためのイベントを開催する。	○	◎	○	○	○		6 7 11 14
64	建設局	上下水道課	下水処理場見学の受入	2005	見学者数:5,196人	継続実施	小学生など下水処理場等の見学希望者に対し、随時見学を受け入れる。		◎	○				6 11 14
65	建設局	河川課	「子どもの水辺」再発見プロジェクト	2005	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進した。	継続実施	県及びNPO等が水辺協議会を設置して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの河川での自然観察活動、愛護活動を推進する。	◎	○					4

5 事業者における社内外に向けた環境学習等の促進・・・P28

- ・環境学習等を行う事業者への支援(情報収集・提供など)
- ・表彰や社会・環境への配慮の観点からの優遇措置等を通じた、優れた技術開発や活動等の支援
- ・環境マネジメントシステム等に関する情報提供と運用の支援
- ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供
- ・優れた取組事例の共有の促進

3事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
66	環境局	地球温暖化対策課	SBT認定企業等による報告会	2024	回数:1回 参加数:221人	報告会開催数:1回	SBT認定を取得した企業等による報告会を開催し、SBT認定取得等による中小企業の脱炭素経営の普及を図る。		◎	○	○			7 8 9 13
67	農業水産局	水産課	水産多面的機能発揮対策事業	2016	水産多面的機能の理解・増進を図る取組への支援(活動組織8団体、参加者1,385名)	水産多面的機能の理解・増進を図る取組への支援(8団体)	水産物の提供、環境の保全、交流の場の提供など、水産多面的機能を発揮するための漁場保全活動及びその理解につながる教育学習会の開催など、漁業者等が行う取組を支援する。	○	◎			○		14
68	農林基盤局	林務課	林業普及指導事業	2005	林業普及指導員による技術指導10回	継続実施(実施回数未定)	森林づくりグループ等の要望を受けて、林業普及指導員が必要な技術指導を実施する。				◎	○		13 15

6 NPO等のポテンシャルを活かした環境学習等の促進・・・P29													
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習等を行うNPO等への支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など) ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供 ・優れた取組事例の共有の促進 										3事業			
番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
69	県民文化局	社会活動推進課	あいち協働ルールブック2004に基づく「NPOと行政の協働に関する実務者会議」の開催	2004	NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催 3回 第1回 7月18日 第2回 11月12日 第3回 2月10日 (第3回はフォーラムとして開催)	NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催 2回予定	NPOと行政の協働推進に向けて、「あいち協働ルールブック2004」に基づくNPOと行政の継続的な協議・検討を行うため、「NPOと行政の協働に関する実務者会議」を開催する。				○	◎	17
70	県民文化局	社会活動推進課	NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催	2004	NPOと行政のテーマ別意見交換会の開催 1回 12月17日 13名出席	NPOとのテーマ別意見交換会の開催 1回予定	よりよい協働促進と地域課題の解決に向けて、テーマ別にNPOと行政、双方の実務者が、意見交換を通じて課題意識の共有を図るとともに、課題解決のための役割分担や協力のあり方を探ることを目的として、意見交換会を開催する。			○		◎	17
71	農業水産局	食育消費流通課	地域での食育の推進事業費補助金	2017	・事業実施主体:6団体 ・補助率:1/2以内	・事業実施主体:10団体 ・補助率:1/2以内	地域の関係者が連携して取り組む地域食文化の継承や農業体験実施などの活動に対して助成を行う。	◎	○				4
7 地域コミュニティのネットワークを活かした環境学習等の促進・・・P31													
<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習等を行う地域コミュニティへの支援(情報収集・提供、研修、表彰制度など) ・主体間をつなぐ仕組みや促進策(コーディネート制度など)の提供 ・優れた取組事例の共有の促進 										2事業			
番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
72	環境局	環境活動推進課	こどもエコクラブ支援	2005	壁新聞応募数:3件 絵日記応募数:0件	継続実施	県内のこどもエコクラブから応募される壁新聞・絵日記の選定を行う。また、環境イベント等の情報を県内のこどもエコクラブへ提供する。			◎	○		4 6 13 14 15
73	建設局	河川課	水辺の緑の回廊整備事業	1997	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施した。	継続実施	地域の環境にふさわしい樹種を川沿いに植樹し、河畔林およびその周辺の自然環境の回復を、地域住民の手による植樹で実施する。	○				◎	11

8 地域の特性を活かした環境学習等を実施できる環境づくり・・・P31														
・環境課題やその解決のためにできることについての情報発信 ・身近にある場や機会を活かした環境学習等の促進										6事業				
番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
74	政策企画局	企画課	伊勢湾総合対策協議会	1970	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行った。(個別の事業は各部署が担当)。(主な活動内容) ①政策提言活動:提言1回 ②海岸ごみ対策検討会の開催:現地研修会3回、啓発物品の作製1回 ③環境問題研究会の開催:現地研修会1回	①政策提言活動:1回以上、NPOの取組支援:後援名義の申請があった場合に実施 ②現地研修会の実施、啓発物品の作製 ③研究会の実施	伊勢湾および周辺地域の総合的な発展と保全を図ることを目的に、岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市が連携協力し、広域的な調査研究や啓発活動を行う(個別の事業は各部署が担当)。(主な活動内容) ①政策提言活動、NPOの取組支援 ②海岸ごみ対策検討会の開催 ③環境問題研究会の開催		◎	○				14
75	環境局	自然環境課	探鳥会・観察指導	2005	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察した。	継続実施	弥富野鳥園内の野鳥保護地から自然のままの野鳥の姿、鳴声などを観察する。	◎						15
76	環境局	自然環境課	あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会	2017	3月1日に愛知県芸術文化センターにて実施 各協議会の活動報告等	継続実施	あいち生物多様性戦略2020に基づき設立された9つの生態系ネットワーク協議会の関係者等が一堂に会し、相互交流を通じて活動のさらなる活性化を目指す交流会を実施する。		○	○	○	◎		14 15 17
77	農林基盤局	林務課	「県有林野の利活用」事業の実施	2005	地方公共団体やNPO等の団体が行う森林・林業体験などの活動回数 延べ15団体が271回活動	継続実施	地方公共団体やNPO等の団体に対し、県有林のうち一部を活動区域として設定し、森林・林業体験などの学習活動を通して、県有林野の利活用や森林整備の促進を図る。		○		◎			13 15
78	農林基盤局	林務課	県有林における「企業の森づくり」事業の実施	2006	企業が社会貢献活動として行う森林整備などの活動回数 延べ14社が45回活動	継続実施	県内の約3,000ヘクタールの県有林を対象とし、企業が社会貢献活動として行う森林整備を県有林で受け入れる事業を実施する。		○		◎			13 15
79	建設局	水資源課	「全日本中学生水の作文コンクール」の実施	1979	応募総数7編	継続実施	「水の日・水の週間」の啓発活動の一環として、中学生を対象に水循環政策本部、国及び本県が実施しているコンクールで、県においても優秀作品を選出し、表彰する。	○	◎					4 6 14 15

9 事業者としての環境負荷低減に向けた、職員への環境学習等の実施・・・P32														
・環境マネジメントシステムの導入や職員への環境学習の実施										6事業				
番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号	
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働		
80	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	2005	新規採用職員研修(中期) 科目:あいちエコマネジメント 講師:環境活動推進課職員(e-ラーニング) 研修日:7月29日(月)～8月26日(月) 受講者数:340名	研修日:7月18日(金)～8月27日(水) 受講者数:381名(見込)	新規採用職員を対象にあいちエコマネジメントに関する講義を行い、職員の環境保全に対する理解を深める。		◎		○			12 13
81	人事局 環境局	自治研修所 環境活動推進課	研修所研修	2018	課長級トップセミナー 科目:あいちエコマネジメント 講師:環境活動推進課職員(資料配付) 研修日:5月16日(木) 受講者数:176名	研修日:5月26日(月) 受講者数:177名	課長級職員を対象にあいちエコマネジメントに関する資料配布を行う。管理的職員の環境保全に対する意識向上を図る。		◎		○			12 13

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
82	環境局	環境政策課	環境局新任職員研修	2002以前	環境局新任職員研修の実施1回	環境局新任職員研修の実施1回	新規採用職員や新たに環境局へ配属された職員等に対して、本県における環境行政に対する理解を深めるための研修を実施する。		◎		○		4
83	環境局	環境政策課	市町村職員等環境基礎研修	2002以前	市町村職員等環境基礎研修2日間1回 環境保全業務基礎ハンドブック250冊	市町村職員等環境基礎研修2日間1回 環境保全業務基礎ハンドブック250冊	市町村職員等に対して、各種公害等に対応した環境関係法令及び条例の規制内容等を整理した「環境保全業務基礎ハンドブック」を配布する。なお、研修は対面及びオンライン開催とする。		◎		○		4
84	環境局	環境活動推進課	エコアクション21認証取得講習会	2010	研修回数:4回 参加事業者数:18事業者	研修回数:4回 参加事業者数:20事業者	エコアクション21の認証取得を目指す事業者向けに取得のための具体的な取組についてアドバイスするため、エコアクション21地域事務局による研修会を支援する。		○	○	◎		12
85	環境局	環境活動推進課	環境マネジメントシステム推進事業	2005	対象者(環境管理推進員531人)への資料配付・動画研修を実施	対面開催 研修受講者数:約570名	本県独自の環境マネジメントシステムである「あいちエコマネジメント」に基づき職員研修等を実施し、本県が行う全ての事務事業における環境負荷低減のための取組を推進する。		○		◎		12 13

10 環境学習等を行う各主体への支援・・・P32

- ・教材やプログラムなどの提供・貸与、資材などの支援
- ・環境学習等の機会についての情報提供
- ・環境学習等を必要としている者と、提供できる者をつなぐ取組の実施
- ・優れた取組の発掘・発信
- ・行政情報の環境学習等への活用

7事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
86	環境局	環境調査センター	中高年・シニア環境学習推進事業費	2018	講座回数:60回	講座回数:35回以上	県が養成した中高年・シニア世代の環境学習講師(あいちecoティーチャー)を小学校や環境学習施設等に派遣し、小学生等に対し環境学習講座を行う。	○	○	○	○	◎	4 6 12 13 14 17
87	環境局	地球温暖化対策課	地球温暖化防止活動推進員の研修	2004	回数:5回	回数:5回	新規の推進員に対して、県の取組や施策、推進員の活動内容等について研修を行う。 また、既存の推進員に対して、講師・指導員としてのスキルアップや、ストップ温暖化教室をオンラインで開催するための技術取得・向上を目的とした研修を行う。		◎	○	○		4 7 13
88	環境局	資源循環推進課	愛知環境賞	2006	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進した。 応募:45件、表彰:15件	表彰:15件	資源循環や環境負荷低減を目的とした、優れた事例に対する表彰を行い、広く紹介することで、循環型社会の形成を推進する。			○	◎	○	4 7 9 11 12 13
89	環境局	資源循環推進課	あいち環境塾	2008	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生同士の討論などを実施した。 また、卒塾生による地域での実践活動の支援等を行った。 塾生:19名、修了:19名	塾生:20名	企業や大学、行政など幅広い分野から塾生を集め、環境や資源循環などの分野で活躍する第一線の有識者、指導者から講義を受けるとともに、塾生同士の討論などを実施する。 また、卒塾生による地域での実践活動の支援等を行う。		○	○	◎		4 7 9 11 12 13
90	環境局	自然環境課	あいち生物多様性保全活動実践企業支援講座	2022	開催数:6講座 延べ参加者:128名	開催数:6講座 各講座定員:20名程度	広く県内の企業を募集し、事業活動以外における保全活動の必要性や企業の意向に沿った幅広い活動について学ぶ講座を開催する。	◎	○	○		○	4 14 15 17
91	保健医療局	健康対策課	食生活改善推進員指導者研修	2005	研修会の開催 回数:4回 受講者数:114名	回数:4回	フードロスを含めた食を通じた健康づくりを行う地域ボランティアである食生活改善推進員の活動を支援する研修会を開催する。		○		◎		3 4
92	農業水産局	食育消費流通課	食育推進ボランティアの登録・活動支援	2005	・ボランティア研修交流会開催:7か所	・ボランティア研修交流会開催:7か所	食生活の改善、料理教室や農業・漁業体験など食育に関する様々な推進活動を行うボランティアの登録や活動支援を行う。				◎		4

11 県内全域を対象とした環境学習等の推進のための環境づくり……P33

- ・県内全域を対象にした環境学習等に関する計画等の策定及び推進
- ・県内環境学習施設等の連携の充実
- ・コーディネート機能の充実など、連携・協働を促進するための環境づくり

11事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
93	政策企画局	企画課	SDGs未来都市計画推進費	2019	○「愛知県SDGs登録制度」の登録企業等を対象にしたあいちSDGsパートナーズ交流会を開催(3回 総参加者:105名) ○高校生とSDGs登録制度の登録者の交流促進 参加者数:12名(高校生)、10社(登録者) ○若い世代によるSDGsの取組促進モデル事業の実施 モデル事業数:5件	交流会参加者:50名程度	SDGs達成に向けた取組を行う企業・団体間のマッチングと新たな取組の創出を図るため、愛知県SDGs登録制度「あいちSDGsパートナーズ」の登録企業等を対象にした交流会を開催する。	○	○	○	○	◎	1~17
94	環境局	環境活動推進課	愛知県環境教育等推進協議会の開催	2012	回数:1回	回数:1回(予定)	環境学習等行動計画2030に基づき、環境学習等をより効果的に進めるための取組を進める。	○	○	○	○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
95	環境局	環境活動推進課	環境学習等行動計画2030の普及・定着	2018	研修会 回数:2回	交流会 回数:2回(予定)	学校、事業者、NPO、市町村等を対象とし、環境学習等に関する連携・協働を促進するための交流会を開催する。	○	○	○	○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
96	環境局	環境調査センター	環境学習コーディネート事業	2013	相談:6件 コーディネート:10件	相談:5件以上 コーディネート:10件以上	事業者、NPO、行政、学校等が連携・協働して環境学習に取り組めるよう、各主体の調整や相談等の業務を行うコーディネーターをあいち環境学習プラザに設置する。				○	◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
97	環境局	環境活動推進課	「学びを行動につなぐサポートBOOK」の活用	2016	研修 回数:1回 参加者:16名	研修 回数:1回 参加者:20名(予定)	「学びを行動につなぐサポートBOOK」を活用し、連携・協働を促進するための研修を実施する。また、学校が連携・協働による授業を行いやすいよう、Webページ「環境教育 あいち協働授業づくり」を充実させる。				○	◎	4
98	環境局	環境活動推進課	環境月間行事の開催	1973	日程:6月10日(月) 場所:県庁本庁舎(正庁) 対象者:2団体、16名	日程:6月10日(火) 場所:県庁本庁舎(正庁) 対象者:1団体、27名	県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった個人・団体について、その功績をたたえるため、知事による表彰を行う。				○	◎	6 7 13 14 15
99	環境局	環境活動推進課	愛知県環境学習施設等連絡協議会	2006	協議会開催:1回 構成員施設等:184施設等、37市町村	協議会開催:1回	企業、NPO、行政等の環境学習施設に対して情報交流の場を設け、参加者相互のネットワークづくりを促進するため、2007年度に愛知県環境学習施設等連絡協議会を設置し、県内の環境学習施設間の情報の共有等連携を強化する。					◎	4 6 7 11 12 13 14 15 17
100	環境局	環境活動推進課 自然環境課	あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業	2009	交付対象事業件数:108件 (環境活動・学習推進事業交付金104件) (生態系ネットワーク形成事業交付金4件)	交付対象事業件数:104件 (環境活動・学習推進事業交付金101件) (生態系ネットワーク形成事業交付金3件)	あいち森と緑づくり税を財源に、NPO等が実施する森と緑の保全活動や、森と緑を社会全体で支える機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図るとともに、団体等に対し活動に必要な情報やノウハウを身につけるための講習会を実施する。また、生態系ネットワークを形成するため、ビオトープの創出や維持、向上に資する事業を支援する。	○	○	○	◎	○	13 14 15 17
101	環境局	地球温暖化対策課	あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)	2018	登録数:39件 (個人32件、団体7件)	継続実施	県民、学校、地域団体、市町村等の自主的な地球温暖化対策活動を支援するため、地球温暖化対策について知見をもった人材及び、地球温暖化対策についての環境学習を提供する事業者等を発掘し、「温暖化まなびネット」に登録して公開する。		○			◎	4 7 13
102	農林基盤局	農地計画課	農業農村整備事業の必要性・効果のPR活動	2002	各農林水産事務所等での啓発活動 件数:35件 参加者:24,114人	各農林水産事務所等での啓発活動 件数:35件 参加者:24,910人	農業農村整備事業の必要性や、農地や農業水利施設が有する多面的機能などについて県民の理解を促進するため、小学生を対象とした排水機場の見学会や、羽布ダムの周辺を散策するウォークラリー等のイベントを開催し、パンフレットや啓発グッズの配布、パネルの展示等を実施する。	○	◎				4 12 14 15

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
103	農林基盤局	農地計画課	農業農村多面的機能支払事業(推進事業費)	2008	「農地・水・環境のつどい」 日程:12月1日(日) 参加者:約500人	「農地・水・環境のつどい」 日程:11月3日(月・祝) 参加者:約600人	愛知県における、地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理と質的向上を図る取り組みの一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織を表彰する。		○			◎	11 14 15

12 環境、環境学習等に関する情報の収集・提供・・・P34

・環境、環境学習、各主体の活動等に関する情報の収集・提供

10事業

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
104	環境局	環境政策課	環境白書・愛知の環境のあらましの作成	1971	環境白書の作成:750部 愛知の環境のあらましの作成: 1,200部	環境白書の作成:750部 愛知の環境のあらましの作成: 1,200部	愛知県の環境の状況及び環境保全施策をまとめた「環境白書」とその概要版である「愛知の環境のあらまし」を作成、配布するとともに、ウェブサイトでも公表し、県民に周知する。		◎	○			4
105	環境局	環境活動推進課 資源循環推進課	庁舎周辺の清掃活動	2005	清掃活動回数:2回(5月、10月)	清掃活動回数:2回(5月、10月)	定期的に職員ボランティアによる県庁周辺の清掃活動を実施する。	○	○			◎	12 17
106	環境局	自然環境課	レッドデータブックあいち2020等による情報提供	2009	レッドデータブックあいち2020(第3次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2020について冊子やインターネットで情報提供を行った。	継続実施	レッドデータブックあいち2020(第3次レッドデータブックあいち)及びレッドリストあいち2020について、冊子やインターネットで情報提供を行う。		◎	○			14 15
107	環境局	自然環境課	外来種に関する情報提供	2011	Webサイト「STOP!あいちの外来種」や「ブルーデータブックあいち2021」による情報提供を行った。また、新たに「愛知県特定外来生物対策ハンドブック」を作成・公表し、各主体の行う防除活動等を支援した。	継続実施	Webサイト「STOP!あいちの外来種」や「ブルーデータブックあいち2021」を活用し、情報提供を行う。また、「愛知県特定外来生物対策ハンドブック」を活用し、各主体の行う防除活動等を支援する。		○	○	◎		14 15
108	環境局	自然環境課	生物多様性あいち学生プロジェクト	2019	県内ユースによる生物多様性保全に係る活動・情報発信を実施。 年間17回 参加者延べ122名	継続実施	県内ユースによる生物多様性保全に係る活動・情報発信を実施する。	◎	○	○	○	○	4 12 14 15 17
109	環境局	自然環境課	みんなで調べよう!あいちの生物多様性モニタリングハンドブックによる情報提供	2018	生物多様性モニタリングに際して、ハンドブックによる情報提供、参加への働きかけを行った(冊子配布、インターネット掲載)。	継続実施	生物多様性モニタリングについて、ハンドブックの活用(冊子配布、インターネット掲載)等を通して、情報提供や参加への働きかけを行う。	◎	○	○			14 15 17
110	経済産業局	水素社会実装推進課	水素社会実装推進事務費	2010	情報フォーラム 1回 160名参加	情報フォーラム 1回	新エネルギー関連分野における技術課題等の解決および事業化の可能性を探る研究会活動の推進やセミナー等を行う。			○	◎		7 9 11
111	農業水産局	農業振興課	交流ネットワーク推進事業	2007	都市農村交流ガイド等による情報提供 アクセス数 1,126	都市農村交流ガイド等による情報提供	あいちの都市・農村交流ガイドにより、地域資源及び地域資源を巡るモデルルートなど、自然とのふれあい等を促進できる情報を提供する。	◎	○				11

番号	担当		事業	開始年度	2024年度事業実績	2025年度事業予定	2025年度事業内容	五つの力					関連するSDGs番号
	局	課室						体感	理解	探究	活用	共働	
112	都市・交通局	公園緑地課	県民参加緑づくりの支援【あいち森と緑づくり事業】	2009	以下の県民参加事業に対し支援を行った。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業 112件	継続実施	以下の県民参加事業に対し支援を行う。 市町村が実施する公有地における樹林地整備や植栽等の緑づくり活動事業や体験学習事業 市民団体が実施する上記の事業 緑の活動にかかる市民団体等育成のために市町村が実施する市民団体等への講師派遣事業	◎	○				11 15
113	教育委員会事務局	あいちの学び推進課	生涯学習情報システム「学びネットあいち」の運営	2002	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供した。 また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供した。	継続実施	生涯学習情報システム「学びネットあいち」により、自然科学・地球環境など環境学習情報を提供する。 また、生涯学習支援ボランティア登録された自然科学・環境分野の人材を「学びネットあいち」において情報提供する。		◎	○			4

五つの力	体感する力	理解する力	探究する力	活用する力	共働する力
◎の数	21	44	5	23	20
○の数	27	45	41	31	25

◎:当該事業に最も関連する力(「五つの力」のうち一つのみ)
○:当該事業に関連する力(複数可)

持続可能な開発目標【SDGs】	事業数
1 貧困をなくそう / NO POVERTY	2
2 飢餓をゼロに / ZERO HUNGER	3
3 すべての人に健康と福祉を / GOOD HEALTH AND WELL-BEING	8
4 質の高い教育をみんなに / QUALITY EDUCATION	53
5 ジェンダー平等を実現しよう / GENDER EQUALITY	2
6 安全な水とトイレを世界中に / CLEAN WATER AND SANITATION	28

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに / AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY	31
8 働きがいも経済成長も / DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH	4
9 産業と技術革新の基盤をつくろう / INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE	14
10 人や国の不平等をなくそう / REDUCED INEQUALITIES	3
11 住み続けられるまちづくりを / SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES	31
12 つくる責任 つかう責任 / RESPONSIBLE PRODUCTION AND CONSUMPTION	36

13 気候変動に具体的な対策を / CLIMATE ACTION	46
14 海の豊かさを守ろう / LIFE BELOW WATER	48
15 陸の豊かさを守ろう / LIFE ON LAND	52
16 平和と公正をすべての人に / PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS	3
17 パートナリーシップで目標を達成しよう / PARTNERSHIPS FOR THE GOALS	33
	397